

## 平成23年度 長岡市三島郡家庭科部会の取組

### 1 研修テーマ

○よりよい生活を創り出す児童を育成するための授業改善

### 2 実践の概要

- (1) 4月22日(金) 家庭科部会総会 「年間計画立案」 長岡市立大島中学校  
(2) 11月2日(水) 授業研究会 長岡市立千手小学校

### 3 取組の実際

#### (1) 授業公開

- ① 授業者 長岡市立千手小学校 5年1組担任 大川 浩子 教諭  
② 題材名 元気な毎日と食べ物 (本時 3/10)  
③ 本時のねらい 自分の食事を振り返り、食品を3つのグループから組み合わせてとり、栄養を考えた食事をとろうと工夫する。  
④ 本時の展開

段階	ねらい	学習活動
つかむ	本時の課題をつかむ	一日の食事の写真を見て、気づきを話し合う。
深める	一日の栄養バランスを考える	どうしたらバランスよくなるか考える。
生かす	自分の一日の食事を見直す	食事調べのカードに改善点を記入する。 改善点を発表し合う。

#### (2) 協議会

##### ① 授業者の話

- ・ 前時は、五大栄養素の話をもとに栄養士とのTTで指導した。
- ・ 様々な児童がいるので、視覚に訴える指導(ユニバーサルデザイン化)を工夫している。本時も、バランスのよくない食事の写真を提示することで、問題への気づきを促した。また、作業シートは、イメージがわくように絵を取り入れた。
- ・ 食事調べが日常生活に生きていくようにしたい。



##### ② 協議(協議題:よりよい生活を創り出す児童を育成するために)

<主な意見>

- 子どもたちの生活に即して考えさせたことが良かった。自分たちの食事を見直していこうという意識付けにつながった。
- 「つかむ」から「深める」の展開が、子どもが既習したことをいかして授業参加しており、よかった。視覚に訴える教材を使ったことで、子どもがバランスのよい食事との違いを感じ取ることができた。
- 自分のとった食事に関心をもって意欲的に栄養のバランスの見直しをしていた。「つかむ」段階での写真を見ての話し合いが有効であったと思います。おにぎりの具を考えたり、クリームパンをソーセイジパンにしたりするだけで赤の食品を足すことができるという意見が出てすばらしかったです。バランス面だけでなく、ラーメンに野菜サラダよりもぎょうざが合っているという意見がありました。ぎょうざの中には野菜も肉も入っている。だから、緑だけでなく赤の食品もとれるという意見もとてもよかった。先生が、上手に子どもたちの考えを取り上げて紹介されていました。

##### ③ 実践交流

参加者一人一人が、日常の実践を報告し、意見交換を行った。中学校の先生方の参加もあったので、小中の連携についての話し合いができ、有意義であった。